

# 令和4年度公益財団法人富山県健康づくり財団事業報告

公益財団法人富山県健康づくり財団は、富山県が取り組む「ウェルビーイングの向上」、「健康寿命日本一の推進」に貢献するため、県民の健康づくりに向けたさまざまな事業を進めてきた。富山県国際健康プラザと富山県立イタイイタイ病資料館については、令和4年度から新たに3年間の指定管理者の指定を受けて管理運営を行うとともに、富山県健康増進センターにおいては、財団の自主事業として施設内健診事業と集団検診事業を一体的に行っている。

令和4年度においては、各施設において感染症対策に配慮しながら、県民の健康の維持増進に寄与できるよう積極的に事業の実施に取り組むとともに、施設間の連携強化を図り、本県における健康づくりの中核団体として、県民サービスの向上に努めたところである。

## 第1 国際健康プラザ事業

国際健康プラザは、県民の健康づくりの中核拠点施設として、県民一人ひとりにあった健康づくりを支援するための事業を実施した。

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、入館者数や利用時間の制限を緩和するとともに事業内容の充実を図った結果、コロナ対策で1か月余り臨時休館した前年度に比べ、国際健康プラザの総利用者数は29.6%増、健康スタジアムの利用者数は30.7%増となった。

○利用者総数

区 分	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比較増減(A-B)	(A)/(B)	
年間営業日数(日)	308	268	40	1.149	
総利用者数(人)	144,055 ( 467 )	111,139 ( 360 )	32,916 ( 107 )	1.296	
内 訳	健康スタジアム	107,039 ( 347 )	81,925 ( 265 )	25,114 ( 82 )	1.307
	生命科学館	3,584 ( 11 )	0 ( 0 )	3,584 ( 11 )	0
	屋外施設	32,044 ( 104 )	28,110 ( 91 )	3,934 ( 13 )	1.140
	その他(注2)	1,388 ( 4 )	1,104 ( 3 )	284 ( 1 )	1.257

注1：( )は、1日当たりの利用者数 注2：内訳の「その他」は、講演会参加者、施設見学者等の数

### 1 指定管理事業

#### (1) 生命科学館事業

遊具を撤去した生命科学館では、オープンスペースを活用したさまざまな事業を行った。

#### ○新 ア 生命科学館オープンスペース活用事業

##### (ア) eスポーツを活用したフレイル予防事業

昨秋に開催した生命科学館リニューアルオープン記念イベントにおいて、コンピューターゲームを活用して、年齢や運動能力に関わらず取り組めるフレイル予防事業を実施した。

○ 1回開催 17人参加

(イ) 健康スタジアム等のサテライト会場として活用

実践指導事業（コース事業）、健康医学講演会・講座（栄養、運動、休養等に関する講演・講座、運動体験等）、雨天時における屋外予定事業などに活用した。

○ 32回

(ウ) 親子ふれあいの場として活用

未就学児や保護者を対象に、楽しく遊びながら健康づくりについて学べるふれあいイベントを開催した。

○ 親子ふれあいイベント 4回開催、69人参加（3年度 3回開催 39人参加）

(エ) その他イベント会場等として活用

イタイタイ病資料館県民フォーラムなどの会場として活用した。

○ 5回

(オ) 教室事業（自主事業）で活用

健康づくり事業に関する教室事業の会場として活用した。

○ 4回

イ 校外学習の支援

保育園、学校等団体の校外活動としての来館者を受け入れ、健康づくりを啓発した。

○ 52団体 利用者 2,955人（3年度 43団体、利用者数 1,827人）

(2) 健康スタジアム事業

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、健康づくりの指導や実践指導を行うとともに、コース事業、講座事業等を実施し、利用者の健康づくりの推進に努めた。

7月15日からは入館者数制限を常時150人以下から200人に拡大、9月からは最大3時間までの利用を4時間に延長するなど、新型コロナの感染状況に応じて対策を緩和した。

県の施策により障害者やとやまっ子お祝いパス利用者のスタジアム料金を免除するとともに、財団独自に障害者の介助者1名についても利用料金を免除し、障害者が安心して利用できるように配慮した。

○ 減免利用者の状況

障害者 19,650人、介助者 1,445人、とやまっ子お祝いパス 1,735人

(3年度 障害者 16,545人、介助者 1,389人、とやまっ子お祝いパス 1,080人)

ア 啓発普及事業

(ア) 健康づくり啓発実践事業

県民の健康づくりの拠点施設としての健康プラザの機能やノウハウを発揮し、運動・栄養・休養の支援といった観点に立って、啓発及び実践の両面から総合的、集中的に事業に取り組んだ。

a 宿泊体験型健康づくり事業

特定保健指導対象者及び糖尿病予備軍等を対象に、運動・栄養の実践を取り入れた体験型事業をコロナ対応のため日帰りで実施した。

○ 4回開催 16人参加（3年度 中止）

b いきいきウォーキング事業

運動を始めるきっかけとして取り組みやすいウォーキングについて、ノルディックウォーキング等の体験講座を開催した。

○ 5回開催 91人参加 (3年度 5回開催 74人参加)

c リラックス体験・推進事業

休養を中心に休息や休養方法、リラクセス法を提供・体験してもらう事業を開催した。

○ 5回開催 98人参加 (3年度 5回開催 62人参加)

d 健康フェスティバル事業

健康づくりへの機運を醸成する啓発イベント ○ 中止 (3年度 中止)

e 健康づくり相談・支援事業

健康プラザの利用者に健康づくりについて気軽に相談してもらえるよう、健康スタジアム内で医師(対象コース加入者限定)や保健師、看護師、栄養士、健康運動指導士による健康相談を実施した。

○ 相談件数 71人 (3年度 50人)

f 健康づくり講師派遣事業

健康プラザ職員(保健師、健康運動指導士等)が、市町村、事業場や老人クラブ・地域包括支援センター等の要望に応じて各地域へ出向き、健康づくりや介護予防に関する講話や実技指導を行った。

○ 4回 (3年度 2回)

(イ)健康医学講演会

県内外から講師を招き、施設利用者や県民を対象に最新の健康に関する話題を取り上げ、日常心がけるべき健康法等を紹介した。

○ 5回開催 135人参加 (3年度 4回開催 74人参加)

実施日	講演テーマ	講師	受講数
6月12日 (日)	未病ケアで健康寿命を延ばそう！ ～今日からできる養生法を交えて～	医療法人ホスピタル総合医療研究所 副所長 許 鳳浩 氏	24人
7月3日 (日)	富山県に生息する天然記念物イセエビを知っていますか？ ～地域ぐるみの保全活動から～	氷見市教育委員会 主任学芸員 西尾 正輝 氏	21人
9月25日 (日)	よく見える目で健康に！ ～加齢に伴い気をつけたい目の病気～	たち眼科富山駅前アイクリニック院長 館 奈保子 氏	33人
10月30日 (日)	超高齢社会とがん ～がん予防の重要性和治療の進歩～	イタイイタイ病資料館長 富山県立中央病院名誉院長 富山県済生会支部長 野田 八嗣 氏	26人
3月12日 (日)	睡眠は健康の源 脳の栄養 ～眠りを改善して日々の生活の質を向上しましょう～	富山名誉教授 株式会社エムール 睡眠・生活研究所長 神川 康子 氏	31人

(ウ)健康づくり講座

a PA（プロジェクトアドベンチャー）講座

学校での学級運営や職場での人間関係づくり等に大きな役割を果たす協力・信頼関係の大切さを実感してもらう体験学習講座を開催した。

(参加者数)

(単位：人)

講座区分		令和4年度(A)		令和3年度(B)		比較増減(A-B)	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数
PA講座	半日コース	11	328	8	271	3	57
	1日コース	3	54	2	35	1	19
	小計	14	382	10	306	4	76

b 健康講話

健康スタジアム利用者に限らず、広く県民を対象に、健康づくり（栄養・運動・休養）や生活習慣病予防、介護予防等に関する情報を提供したり、健康法を体験できる健康講話を開催した。

(参加者数)

(単位：人)

講座区分		令和4年度(A)		令和3年度(B)		比較増減(A-B)	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数
健康講話		11	239	11	181	0	58

c ヘルスアップママ講座

生後2か月から3歳以下の子育て中のママ（パパ）を対象に、心身のリフレッシュや産後の体力回復、ボディケア等を目的とした健康づくり講座を実施した。ペア割引料金を設定し、夫婦そろって参加できる内容の講座とした。講座参加者には、ちびっ子室（託児室）に子どもを預け、安心して参加してもらった。

(参加者数)

(単位：人)

講座区分		令和4年度(A)		令和3年度(B)		比較増減(A-B)	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数
ヘルスアップママ講座		8	10	11	14	-3	-4

d 栄養講座

四季ごとの食材を使い、生活習慣病予防等にも役立つ内容の調理実習と試食を取り入れた体験講座「四季のヘルシークッキング講座」を開催した。

○ 4回開催 28人参加（3年度 4回開催 20人参加）

イ 調査研究事業

(ア) 健康増進プログラム調査研究

大学・研究所等の有識者や各機関と連携し、県が進める健康管理システムに代わる新たな健康増進プログラム開発への協力やサービス内容の向上に資する調査研究を行った。

新 (イ) e スポーツのフレイル予防効果に関する調査研究

県内大学研究者と連携して、コンピューターゲームを活用したフレイル予防事業を実施し、

そのフレイル予防効果について調査研究を行った。

○ 37回開催 569人参加

(ウ) 富山県健康増進施設連絡協議会の運営

県内の運動型健康増進施設等 33 施設で構成する「富山県健康増進施設連絡協議会」を運営し、各施設間の情報交換を行うとともに、協議会として県に対して健康増進についての積極的な県公報の実施を要望した。

○ 1回開催 10人参加 (3年度 20人参加)

ウ 情報提供事業

(ア) ホームページやフェイスブック、インスタグラムを活用して、健康情報や最新のイベントに関する情報を発信した。

(イ) 新聞や雑誌等のマスメディアを通じて国際健康プラザに関する情報提供を行った。

エ 人材育成事業

(ア) 健康づくり担当者研修会

県厚生センター、市町村等の健康づくり担当者、学校、企業の保健指導者を対象に、健康づくり事業の効果的推進役としての資質の向上を図るための研修会を開催した。

実施日	講演テーマ	講師	受講者
11月15日(火)	低酸素環境での運動効果	立命館大学スポーツ健康科学部・研究科 教授 後藤 一成 氏	17人

(イ) 健康づくり指導者研修会・健康スポーツ医研修会

県や市町村、学校、企業等の健康・保健指導者を対象とした「健康づくり指導者研修会」と県内の地域医療に関わる医師等を対象とした「健康スポーツ医研修会」を開催した。(この研修会は、健康運動指導士や健康運動実践指導者の資格更新のための単位認定講座と健康スポーツ医の資格更新に必要な地域医師研修会を兼ねて開催したもの)

実施日	内容	講師	受講数
11月5日 (土)	午前 (講義) 体力づくりのための体力トレーニングの実践と体力測定について①	富山県総合体育センター 主幹 井口 文雄 氏	指導者 22人 医師 22人 (午後のみ)
	(実習) 体力づくりのための体力トレーニングの実践と体力測定について②	富山県総合体育センター 主幹 井口 文雄 氏	
	午後 (講義) 「ケガをさせない」ための予防医学	順天堂大学医学部医学研究科スポーツ医学・再生医療講座 特任教授 齋田 良知 氏	

オ 実践指導事業

利用目的に応じて各専門スタッフが、総合的な健康づくり(栄養・運動・休養)プログラムを提供した。

(ア) 生活習慣病予防コース

健康増進や生活習慣病の予防・改善を目的に、医師が総合的に判断した、個人に適した栄

養・運動・休養プログラム等の健康づくり処方を提供し、本格的な健康づくりに取り組んでもらうコース

(参加者数)

(単位：人)

コース名	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比較増減 (A-B)
6ヵ月充実コース	0	0	0

(イ) 健康保持コース

健康・体力の保持増進を目的に、日常生活問診や体力測定の結果に基づき個人にあった健康づくり処方を提供し、実践指導を行うコース

(参加者数)

(単位：人)

コース名	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比較増減 (A-B)
健康づくり通信指導コース	0	0	0
体力測定コース	467	354	113

(ウ) 子ども(親子)のコース (子どもの健康づくりコース)

親子で参加してもらい、運動や栄養などについての知識を深めるとともに、実技を行うコース  
○ 2回開催 31人参加 (3年度 2回開催 16人参加)

(エ) 高齢者向けコース (いきいきコース)

65歳以上の高齢者を対象に生活体力測定を行い、その結果に基づいたプログラムを提供し、実践してもらうコース

○ 36回開催 569人参加 (3年度 25回開催 366人参加)

(オ) セルフコース

健康スタジアムを継続利用しやすいように、利用する時間帯に応じてコースを設け、期間利用券を発行して、健康の維持増進に取り組んでもらうコース

(利用者数)

(単位：人)

区分	利用形態	期間	申込者数	延べ利用者数
平日デイ	月～金(祝日を含み、休館日を除く)の10:00～17:00利用	1ヵ月	846	11,656
		3ヵ月	99	1,082
		6ヵ月	205	2,567
平日プラスA	月～金(祝日を含み、休館日を除く)のフルタイムと土日祝日の14:00以降利用	1ヵ月	384	7,342
		3ヵ月	112	2,149
		6ヵ月	237	4,885
平日プラスB	月～金(祝日を含み、休館日を除く)のフルタイムと土日祝日の10:00～14:00利用	1ヵ月	135	2,637
		3ヵ月	55	491
		6ヵ月	81	1,186
休日プラス	平日17:00以降と土日祝日のフルタイム利用	1ヵ月	831	11,385
		3ヵ月	214	3,350
		6ヵ月	406	6,824
フリー	全営業日のフルタイム利用	1ヵ月	144	2,445
		3ヵ月	12	147
		6ヵ月	80	1,496
計			3,841	59,642

(カ) 健康測定（健康チェック）

- a 自らの健康状態を把握し、その改善に向けて行動する契機として、手軽な料金で健康度を測定できる各種健康チェックと指導を実施した。

(利用者数)

(単位：人)

コース名	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比較増減 (A-B)
骨密度チェック	294	154	140
貧血チェック&食事バランスチェック	7	15	△8
内臓脂肪面積チェック	70	195	△125
ストレス度と血管年齢チェック	130	223	△93
体型チェック	273	291	△18
脚の運動機能チェック	189	91	98

b 健康チェックの日

健康測定の周知・啓発を兼ねて、毎月テーマを決めた「健康チェックの日」を設定し、定期的に健康測定を実施した。 ○ 12回開催 利用者 82人

(キ) 自由参加プログラム

トレーニング・プールエリアで、利用者の利用形態に応じた内容を工夫し、自由に参加できるプログラムを実施した。

○ 51,437人参加 (3年度 37,116人参加)

(ク) ちびっ子室（託児室）の運営

子育て中の利用者にも安心して運動してもらえるよう、保育士が健康スタジアム内にある「ちびっ子室」でお子さんを預かるサービスを実施した。

○ 子どもの利用者 452人 (3年度 458人)

(ケ) 健康相談

利用者に疑問点等について気軽に相談してもらい、より安全に健康づくりに取り組んでもらうため、医師（対象コース加入者限定）や保健師、看護師、栄養士、健康運動指導士等が健康相談に応じた。

○ 相談件数 71件（再掲） (3年度 50件)

(コ) 医療費控除の証明

健康プラザは厚生労働省の「温泉利用型健康増進施設」及び「指定運動療法施設」の指定を受けており、医師の処方に基づき健康状態の改善を目的に健康スタジアムを利用した場合に医療費控除の対象となることから、該当者に対し証明書の発行を行っている。

○ 発行件数 0人 (3年度 2人)

(サ) 指導・監視等業務

トレーニング・プール・バーデゾーンの利用安全確保の観点から各エリアに職員を配置し、指導・監視業務を実施した。

### (3) 屋外健康づくり施設の管理

6ha を超える屋外健康づくり施設を無料で開放し、緑あふれる環境の中で楽しく健康づくりができるよう施設の維持管理に努めた。

○ 利用者 32,044 人 (3 年度 28,110 人)

うち、パークゴルフ場利用者数 24,484 人 (3 年度 20,495 人)

<主な施設> パークゴルフ場、健康遊歩道、トリムコース、じゃぶじゃぶ池、薬木の径、ハーブ園、薬草園、イベント広場

### (4) 利用者への対応

#### ア 公募型利用者モニター会議の開催

管理運営改善を図るため健康スタジアム利用者の中からモニターを公募し、利用者モニター会議を開催して利用者の意見の反映に努めた。

○ モニター登録：6 人、モニター会議の開催回数：2 回 (10 月、3 月)

(3 年度 モニター登録：7 人 モニター会議開催数：2 回)

#### イ ご意見・ご提案箱の設置

館内に「お客様の声回収箱」を設置して利用者の要望や苦情等を提出してもらい、ご意見、ご要望に対する回答を館内にポスター掲示するとともに、必要な改善措置を講じた。

### (5) 利用促進の方策

#### ア 市町村と連携した利用促進

健康プラザから比較的遠方の市町村と連携して「市町村の日」を設け、個人料金の半額サービス、団体のコース事業料金の半額サービスや無料バス送迎など、県内全域からの利用促進に努めた。

○ 連携市町：高岡市、射水市、氷見市、上市町 利用者数：304 人

(3 年度 連携市町：高岡市、射水市、上市町 利用者数：112 人)

#### イ 送迎バスの運営

市町村が実施する高齢者の健康づくり事業などの無料送迎を行い、健康スタジアムの利用拡大に努めた。

○ 39 団体 679 人 (3 年度 24 団体 361 人)

#### ウ PR 事業やイベントの実施

新

##### a 生命科学館リニューアルオープン記念イベント

生命科学館が、密を避けながら安心して活動できるフロアスペースとして生まれ変わったことを広く県民に発信するイベントとして、10 月 9 日に開催し、ヨガやウォーキング講座、e スポーツ体験などに延べ 312 人が参加した。

新

##### b 利用促進キャンペーンの実施

健康スタジアムの利用者数の回復を図るため、10 月から 12 月までの 3 カ月間、「期間利用」割引キャンペーンを行った。

新

##### c 環境芳香の実施

健康スタジアムのエントランス付近において、環境芳香を実施した。



d 健康増進センターと連携したサービス支援

健康増進センターで検診を受けた方（特定保健指導対象者を含む。）に対して、健康スタジアムを利用した運動実践を指導する割引利用サービスを実施した。

(6) 地域等との連携

ア 地元等との連携

富山県国際健康プラザ協議会を開催し、周辺地域住民との連携を密にして施設の円滑な運営を図るため地元関係者と協議した。

○ 2回開催 委員数 13人 (3年度 2回開催 委員数 13人)

イ とやま健康パーク友の会との連携

健康プラザ利用者のための会員組織「とやま健康パーク友の会」の運営業務を支援した。

○ 会員数 個人会員 258人、団体会員 66団体

(3年度会員数 個人会員 185人、団体会員 69団体)

ウ イタイイタイ病資料館との連携

イタイイタイ病資料館と連携して、資料館の見学と健康プラザ体験をセットにした小・中学生、町内会等の団体を対象とする健康づくり啓発普及コース事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため休止した。

○ 休止 (3年度 休止)

エ その他団体との連携

a サッカーのJ3リーグに所属する地元のカターレ富山のサポートショップとして、サービスを提供した。

b 公益財団法人富山県民福祉公園と連携し、富山県自然博物館ねいの里でいきいきウォーキング事業を開催した。

## 2 自主事業

### 新 (1) ヘルスプロモーション in スクエア 2022

芝生広場や生命科学館オープンスペースを活用して、毎月、ヨガや太極拳の体験事業を開催した。 ○ 12回開催 150人参加

### 新 (2) 生命科学館オープンスペースを活用した事業

#### ア 展示事業

健康づくりに関する企画展示（年6回）や健康、環境に関する身近なテーマを分かりやすく解説する公開実験（年2回）を開催し、子どもから大人まで楽しみながら健康への理解を深めてもらった。

#### イ ボランティアの育成

公開実験等をサポートしていただくボランティアの研修会を年2回開催し、子どもたちの学習をサポートできる人材を養成した。 ○ 登録者数 9人（3人増員）

### (3) 県等委託事業の受託

健康保険組合や共済組合等から依頼を受け、所属員の健康的な生活習慣づくりを目的とした研修、体力測定、運動の実践を請け負う事業を実施した。

団体名	事業名称等	回数	参加者
地方職員共済組合富山県支部	ヘルスアップスタートセミナー	13回	130人
富山県警察共済組合	若手職員のための「心と体のヘルスアップセミナー」	8回	162人
	採用10周年「心と体のヘルスアップセミナー」	4回	62人
富山第一銀行健康保険組合	チャレンジコース	1回	25人
富山県教職員厚生会	ヘルスアップ事業	5回	64人

### (4) 特定保健指導事業

厚生労働省の標準的な保健指導プログラムに、健康スタジアムの体験利用や健康相談のサービスを加えて、次の2コースを実施した。

コース名	4年度	3年度
動機づけ支援コース	26人	19人
積極的支援コース	18人	16人

### (5) 教室事業

健康づくりを支援するため健康プラザが会場を提供し、教室の講師を公募して、意欲のある人が誰でも自由な発想で健康づくり事業を主催できる県民参加型の事業で、「心と身体を整えるヨガ」を7～10月に開催した。 ○ 参加者 29人

### (6) 特別有料プログラム

更なるレベルアップを図りたい継続利用者の要望を考慮して、小スタジオにおいて運動強度の強いプログラムを有料で実施した。

○ 参加者 539人（3年度 休止）

### (7) 介護予防指導者養成研修会

富山県内の地域包括支援センター職員を対象に、介護予防に役立つ運動機能向上に関する知識

習得と技術スキルの向上を図るための研修会を開催した。

ア 富山県介護予防指導者養成研修会

○ 1回開催 9人参加 (3年度 1回開催 10人参加)

イ 富山県介護予防指導者実務(フォローアップ)研修会

○ 1回開催 3人参加 (3年度 1回開催 9人参加)

(8) 健康づくり講師等の派遣事業(再掲)

健康プラザ職員(健康運動指導士・保健師・栄養士)が、県内市町村・企業、地域団体等の要望に応じて施設内及び各地に出向き、健康づくりの啓発普及に努めた。

○ 4回 (3年度 2回)

## 第2 イタイイタイ病資料館事業

### 1 イタイイタイ病資料館（指定管理事業）

イタイイタイ病に関する貴重な資料や教訓を後世に継承するため、県が企画立案を行い決定した事業内容に基づき、県と十分連携を図りながら事業を実施した。

#### (1) 資料継承事業に関する業務

県の指示に基づき、収集資料の保存管理、新規収集資料の分類、収集資料のデータベースの更新を行った。

##### ア 収集資料の保存管理業務

収集資料を適正な管理下で保存保管し、資料室（収蔵庫）、図書閲覧室（視聴覚室）及び収集資料の定期的な点検確認を行った。

##### イ 新規収集資料の分類業務

県で計画的に収集する資料について、県で定める方法により、適正に分類、整理を行った。

##### ウ 収集資料のデータベースの更新業務

県で新たに収集した関係資料の基本情報を県が整備したデータベースに入力した。また、県の指示に基づき、収蔵資料を調査し、既に県で入力済の各データの加除修正を行った。

#### (2) 教育啓発事業に関する業務

##### ア 展示ガイドの増刷業務

県が提供する版下により、展示ガイドを増刷（日本語 2,000 部）した。

##### イ 団体利用者の予約受付及び団体受入れ時の対応協力業務

県と調整して団体利用者の予約受付、受入れ準備、誘導、語り部講師や展示解説の補助を行った。

##### ウ 小中学校等に対する学習支援業務

小学校等における学習支援の一環として、授業で活用できる副読本を配布した。

○ 県内 192 箇所 9,062 部 (3年度 194 箇所 9,191 部)

##### エ 研修イベント事業に関する業務

県が企画立案し実施したイベント事業の準備や実施の補助を行った。

##### a 夏休み自由研究講座

○ 開催日：7月30日（土） 参加者：14人（3年度 35人）

##### b イタイイタイ病資料館夏休み親子見学ツアー

○ 参加者 17人 (3年度 中止)

##### c 教員向け研修 イタイイタイ病資料館活用研修会

○ 参加者 16人 (3年度 中止)

##### d 春の企画展「カラーで蘇るイタイイタイ病の記憶」

○ 開催日：4月23日（土）～5月8日（日）

e 四大公害病の語り部講話を聴く集い ～語り部による伝承会～

○ 開催日：10月29日（土） 参加者：50人

f イタイイタイ病を考える県民フォーラム

○ 開催日：2月19日（日） 参加者：150人

オ サテライト啓発業務

イタイイタイ病への関心を広げていくため、県内の公的施設等においてイタイイタイ病に関する映像放映やパネル展示を行った。

○ 開催数 9箇所 富山市、氷見市、高岡市、北陸銀行富山南中央支店、滑川市、黒部市、小矢部市、砺波市、魚津市

(3年度 9箇所 富山市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、上市町つるぎふれあい館、立山町、入善町、朝日町)

カ 国際健康プラザとの連携事業の実施業務

国際健康プラザで実施している「市町村の日」や講師派遣事業等においてイタイイタイ病資料館の普及活動を行った。

a 市町村の日の活用

国際健康プラザにおいて、市町村と連携して実施している「市町村の日」事業で、パンフレットの配布を行った。

b 市町村等各種団体への訪問による普及活動

国際健康プラザにおいて実施している市町村や各種団体への健康づくり講師派遣事業で、資料館の説明や利用案内、パンフレット等を配布し、普及活動を行った。

キ その他資料館の利用促進業務

国際健康プラザを利用する団体や健康パーク友の会を対象に説明、利用案内やパンフレットの配布を実施した。

また、県からの委託を受け、県内の学校がイタイイタイ病資料館を見学する場合に無料送迎バスを提供した。

○ 実施回数 75団体 参加者 3,634人 (3年度 72団体 参加 2,850人)

(3) 情報発信業務に関する業務

ア みんなの声コーナーのモニター表示管理業務

感想等を表示する「ふり返し展示システム」にイタイイタイ病資料館に寄せられた感想等を確認し、県と調整して表示するものを選定し、システムに登録した。

○ 投稿数 179件 登録件数 19件 (3年度 投稿数 119件 登録件数 16件)

イ メールマガジンによる情報提供事業

県と調整してメールマガジンの掲載情報を作成し、登録者へ定期的に配信した。

ウ 研修イベントなどのチラシ・ポスター作成等業務

資料館で研修イベント等を実施するにあたり、県で決定した内容を踏まえ、チラシ、ポスター等を作成し、効果的にPRできるよう適切に配布、掲示を行った。

### 第3 健康増進センター事業

#### 1 健康診断事業

##### (1) 施設内健診事業

健診者総数は21,405人で、前年度に比べ749人(3.6%)増加した。

コース別では、総合健診コースは27人(△0.6%)減少し、協会けんぽコースは202人

(2.2%)増加した。また、定期健診コースは628人(9.3%)増加し、保険診療は54人(△8.3%)減少した。

<令和4年度 健診実施状況>

(単位：人)

区 分	令和4年度(A) (健診日数：248日)		平成3年度(B) (健診日数：246日)		比較増減(A-B) (健診日数：2日)	
	年間健診 人 数	1日当り 人 数	年間健診 人 数	1日当り 人 数	年間健診 人 数	増減率 (%)
総合健診コース	4,140	16.7	4,167	16.9	△ 27	△ 0.6
協会けんぽコース	9,274	37.4	9,072	36.9	202	2.2
小 計	13,414	54.1	13,239	53.8	175	1.3
定期健診	7,391	29.8	6,763	27.5	628	9.3
保険診療	600	2.4	654	2.7	△ 54	△ 8.3
合 計	21,405	86.3	20,656	84.0	749	3.6

##### (2) 集団検診事業

集団検診者総数は231,784人で、前年度に比べ140人(0.1%)減少した。

検診別では、肺がん、大腸がん、循環器検診の受診者が増加したものの、他の検診は減少した。中でも乳がん検診917人(△3.6%)、胃がん検診688人(△4.8%)と現象数が大きい。

<令和4年度 各部門別検診実施状況>

(単位：人、台)

区 分	令和4年度(A)		令和3元年度(B)		比較増減(A-B)	
	年間検診 人 数	検診車 稼働台数	年間検診 人 数	検診車 稼働台数	年間検診 人 数	増減率 (%)
胃がん検診	13,655	600	14,343	605	△ 688	△ 4.8
子宮がん検診	40,549		40,991	494	△ 442	△ 1.1
乳がん検診	24,795	490	25,712	520	△ 917	△ 3.6
肺がん検診(結核含む)	61,222	594	59,981	596	1,241	2.1
大腸がん検診	14,023	—	13,509	—	514	3.8
循環器検診	75,112	—	74,685	—	427	0.6
特定保健指導	695	—	748	—	△ 53	△ 7.1
骨粗鬆症検診	1,733	47	1,955	51	△ 222	△ 11.4
合 計	231,784		231,924		△ 140	△ 0.1

注：高山市等岐阜県内の検診人員、検診車台数については内数として別途記載。

## 2 がん対策普及調査事業

### (1) 普及啓発事業

#### ① がん征圧月間運動の実施

9月のがん征圧月間に、がん予防に関する正しい知識の普及と早期発見、早期治療の大切さを訴えるため、パンフレットやポスターの配布、懸垂幕の掲示等により、検診勧奨の普及を図った。

・実施期間 令和4年9月1日（木）から30日（金）まで

#### ② 日本対がん協会維持会員の募集

がん征圧運動を実施するため、県、市町村、医師会、事業所等の協力を得て、日本対がん協会維持会員の募集と募金を行った。

・個人維持会員数 67人 募金額 119,000円 (R3年度 77人：173,725円)

・法人維持会員数 21人 募金額 251,000円 (R3年度 21人：260,000円)

・募金総額 370,000円 (R3年度 433,725円)

#### ③ 講演会

例年、市町村や事業所等の要望に応じて職員を派遣し、がんや生活習慣病予防に関する講演を行っているが、コロナ禍により実施しなかった。

・講演回数 年間0回実施 (R3年度 年間0回)

#### ④ 視聴覚教材の貸出し

健康づくりに関する視聴覚教材を市町村、事業所、学校等へ貸し出し、疾病予防や健康づくりの啓発を行った。

##### 貸出実績

区分	4年度	3年度	区分	4年度	3年度
ビデオ(DVD)	0件	0件	パネル	3件	23件
模 型	1件	1件	合 計	4件	24件

### (2) がん基金事業

富山県がん対策基金の運用益により、がん予防に関する啓発普及を行った。

#### ① がん征圧月間（9月）におけるキャンペーン

新聞広告による普及啓発の実施

・9月2日（金）朝刊1紙 約20万部発行（クイズ形式で掲載）

#### ② 世界禁煙デー（5月31日）のキャンペーン

「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」にあわせ、検診バスにマグネットシール（標語）を貼り、視覚に訴える啓発普及を検診活動とともに展開した。

・実施日 令和4年5月24日（火）から6月24日（金）まで

#### ③ 富山県がん検診普及啓発キャンペーンの実施

コロナ禍により規模を縮小してキャンペーンを実施した。

・10月23日（土）、10月24日（日） 富山産業展示館で出展

・10月 ピンクライトアップ 富岩運河環水公園など2ヶ所

④ 講演会・報告会の開催

・例年3月に、「受診者拡大のための方策」と題する講演会や集団検診実施状況報告会を開催しているが、コロナ禍により実施しなかった。

⑤ 研修会等派遣の助成

がん検診に従事する医療技術者の研修会等派遣の助成を行い、検診や読影技術等の向上を図ることとしているが、コロナ禍により不執行（助成予定人員 5名（R3年度：0名））

### 3 複十字シール募金事業

(1) 複十字シール運動の実施

結核予防運動を推進するため、県、市町村、婦人会等各種団体の協力を得て複十字シール募金活動を行った。（募金総額 1,947,108円（R3年度：2,176,860円））

(2) 結核予防週間の普及啓発活動

結核予防週間を中心として、ラジオスポット放送・懸垂幕の掲示やポスターの配布等を行い、富山県結核予防婦人会（富山県婦人会）の協力を得て全国統一の街頭キャンペーンを実施し、結核に対する関心と予防思想の普及啓発に努めた。

・ラジオ放送及びポスターの掲示

実施期間 令和4年9月24日（土）から30日（金）まで

・街頭キャンペーンの実施

富山市総曲輪通りでパンフレット配布等の街頭キャンペーンを実施した。9月17日（土）

・懸垂幕の掲示

実施期間及び場所 令和4年9月1日（木）から30日（金） 富山市役所広告塔

### 4 高山市等岐阜県内の集団検診事業

検診者総数は、14,559人で、前年度に比べ908人（△5.9%）の減少となった。検診別では、子宮がん検診で255人（△3.6%）、乳がん検診で374人（△5.2%）、骨粗鬆症検診で279人（△22.0%）と全てにおいて減少した。これは、令和3年度に新たに受託した飛騨市の検診が、令和4年度から隔年実施となったことによるものである。

<令和4年度 高山市等検診実施状況>

（単位：人、台）

区分	令和4年度（A）		平成3年度（B）		比較増減（A-B）	
	年間検診 人数	検診車 稼働台数	年間検診 人数	検診車 稼働台数	年間検診 人数	増減率 （%）
子宮がん検診	6,821	131	7,076	102	△255	△3.6
乳がん検診	6,791	131	7,165	102	△374	△5.2
骨粗鬆症検診	947	25	1,226	25	△279	△22.0
合計	14,559		15,467		△908	△5.9



## 第4 評議員会及び理事会の開催状況

### 1 評議員会

#### (1) 第1回臨時評議員会

開催日 令和4年4月1日(金)

開催場所 (書面による決議)

決議議案 議案第1号 評議員1名選任の件 議案第2号 役員1名選任の件

#### (2) 定時評議員会

開催日 令和4年6月16日(木)

開催場所 富山県民会館702号室

決議議案 議案第1号 令和3年度決算の件 議案第2号 役員選任の件

#### (3) 第2回臨時評議員会

開催日 令和4年7月1日(金)

開催場所 (書面による決議)

決議議案 議案第1号 評議員1名選任の件 議案第2号 役員2名選任の件

### 2 理事会

#### (1) 第1回理事会

開催日 令和4年4月1日(金)

開催場所 (書面による決議)

決議議案 議案第1号 評議員候補者の件 議案第2号 役員候補者の件  
議案第3号 評議員会開催の件

#### (2) 第2回理事会

開催日 令和4年5月30日(月)

開催場所 富山県民会館701号室

決議議案 議案第1号 令和3年度事業報告の件 議案第2号 令和3年度決算の件  
議案第3号 検診車整備の件 議案第4号 役員候補者の件  
議案第5号 評議員会招集の件

報告事項 職務の執行の状況の報告

#### (3) 第3回理事会

開催日 令和4年6月16日(木)

開催場所 (書面による決議)

決議議案 議案第1号 業務執行理事選定の件

(4) 第4回理事会

開催日 令和4年7月1日(金)

開催場所 (書面による決議)

決議議案 議案第1号 評議員候補者の件 議案第2号 役員候補者の件  
議案第3号 評議員会開催の件

(5) 第5回理事会

開催日 令和5年3月24日(金)

開催場所 富山県民会館611号室

決議議案 議案第1号 令和4年度補正予算の件 議案第2号 令和5年度事業計画の件  
議案第3号 令和5年度収支予算の件 議案第4号 令和5年度資金運用方針の件

報告事項 職務の執行の状況の報告